

市民憲章と市の木・市の花・市の鳥に寄せられたご意見

10月に市民憲章と市の木・市の花・市の鳥の案について意見を募集したところ、さまざまなご意見をいただきました。ご協力に感謝申し上げます。ここでは、寄せられた主なご意見と市の対応方針を紹介します。これらを踏まえ、最終決定します。

〈市民憲章草案〉

(前文)

わたしたちは、四季を織りなす十和田湖・奥入瀬・八甲田の豊かな大自然につつまれ、先人から受け継いだ開拓精神にはぐくまれた十和田市民です。

わたしたちは、このまちに生きることに誇りと責任をもち、未来に羽ばたくまちをつくるため、ここに市民憲章を掲げます。

(本文)

- 一、永遠（とわ）に輝く自然をいつくしみ、水と緑の美しいまちをつくります。
- 一、わがふるさとを愛し、文化の香り高いまちをつくります。
- 一、誰もが健康で思いやりにあふれ、安心して暮らせるまちをつくります。
- 一、仕事に誇りをもち、活力のあるまちをつくります。

〈市の木・市の花・市の鳥の案〉

市の木 モミジ 市の花 サクラ 市の鳥 未定

【市民憲章に寄せられたご意見と市の対応方針】

ご意見	対応方針
「未来に羽ばたく」を「感動と創造に満ちた」にしては？	再検討します。
本文の頭をと・わ・だ・しにすることで文言・文章的に無理が生じていないか。	覚えやすさを考慮し、各段落の出だしを「と・わ・だ・し」から始まるようにしたものであり、文章としては無理がないと考えています。
「先人から受け継いだ」を「先人から受け継がれた」に、「豊かな大自然」を「豊かな自然」に修正してはどうか。	再検討します。

【市の木・市の花・市の鳥に寄せられたご意見と市の対応方針】

ご意見	対応方針
自然豊かな十和田市では市の木・花・鳥は選定しないことにはどうか。	ご意見も一つの考え方ですが、木と花は選定したいと考えます。

問い合わせ先 企画調整課 (☎235111内線166)

芸術文化ゾーンだより ⑮ ～作品紹介④フェデリコ・エレロ～

市で整備を進めている野外芸術文化ゾーンについての話題を紹介しています。

十和田市現代美術館の滞在制作第1号として、フェデリコ・エレロが10月13日から11月4日までの間に、現代美術館の階段室と屋上にカラフルなペインティング作品を描きました。

エレロは1978年中米コスタリカ生まれ、大学で教育・絵画・建築を学んだあと、近年はプロジェクト型の作品制作に取り組んでいます。2001年のベネチア・ビエンナーレ（2年に一度開催する大規模な国際展）で特別新人賞を受賞、その後も数々の国際展に参加し、2005年の愛知万博では、4つの世界地図を描いた池を発表しました。恒久的な作品としては、当館の作品が日本で初めてになります。

エレロの作品は、鑑賞者が作品の中に入り込み、一体となって感じる事が出来るのが特徴です。十和田市の作品についても、「色がさまざまに重なり合うことで新たな力が生まれる。階段を昇ることで、自分の作品でパワーを感じて欲しい」と話しています。また、カラフ



作品制作中のエレロさん

ルな階段室とは対象的に、屋上はスカイブルー一色です。「十和田市の青い空を描きかった」とのことです。作品にはさまざまな「目」状のものが描かれており、作品そのものが語りかけてくれるかのようです。

残念ながら現代美術館建設中のため、作品は開館まで非公開ですが、来年4月にはご覧になれますので、ご期待ください。

問い合わせ先 企画調整課(☎235111内線162)